

樹脂との相溶性を改善するCNF変性技術を徹底解説致します！

セルロースナノファイバーの 解繊・樹脂への均一分散技術

●日 時 平成28年6月6日(月) 11:00~16:30

●会 場 [東京・五反田]技術情報協会 セミナールーム

●聴講料 1名につき55,000円(消費税抜き・昼食・資料付き)

[1社2名以上同時申込の場合1名につき50,000円(税抜)]

[大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。詳しくはお問い合わせください]

1. セルロースの化学変性とセルロースナノファイバー コンポジットの物性-カチオン化処理から最近の変性まで-

(11:00~12:30) (地独)京都市産業技術研究所
高分子系チーム 主席研究員 学術博士 仙波 健 氏

【講座趣旨】

最近、注目されているセルロースナノファイバーについて、セルロースとなじみの良いカチオン化処理、そして数年前から開発している疎水化処理まで、これまで実施した結果を解説します。セルロースナノファイバーの樹脂強化のポテンシャルを知っていただく機会とします。

2. セルロースの表面疎水化による樹脂との複合化

(13:30~14:50) 中越パルプ工業(株)
開発本部 開発部 上級技師 田中 裕之 氏

【講座趣旨】

セルロースナノファイバーとは何か、その特徴、性質を知って頂きたい。この素材を利用する際の難しさ、特に樹脂コンポジットへ応用する難しさを感じて頂きたい。上手く利用するには、根気強く研究に取り組むことが必要で、その一例(樹脂に無知な弊社が出来たこと、出来なかったこと)をお示しします。一人でも多くの皆様が、この素材を応用した製品開発に取り組んで頂くことを期待しています。

3. TEMPO酸化セルロースナノファイバーの研究と バリア材開発

(15:00~16:30) 凸版印刷(株) 事業開発・研究本部 事業開発センター
第二企画部 課長 農学博士 加藤 友美子 氏

【講座趣旨】

現在では、セルロースナノファイバー調整の画期的な前処理方法として知られているTEMPO酸化について、基本的なメカニズムから解説する。後半はTEMPO酸化セルロースナノファイバーの応用検討例としてバリア材および包装材料としての利用について述べる。

1.はじめに

- 1-1 セルロースナノファイバーの基礎 1-2 プラスチックと自動車
1-3 セルロースナノファイバーの国内開発状況

2.カチオン変性によるセルロースへの解繊性付与

- 2-1 セルロースへのカチオン化剤の利用と種類
2-2 カチオン変性セルロースによる樹脂の補強
2-3 カチオン変性セルロース強化樹脂の構造、分散性

3.セルロースナノファイバーの疎水化処理による解繊性付与

- 3-1 疎水化処理セルロースナノファイバーを用いた樹脂成形加工の意味
3-2 疎水化処理セルロースナノファイバーがもたらす樹脂物性向上事
3-3 疎水化処理セルロースナノファイバーが広げる加工温度範囲
3-4 最新の疎水化セルロースナノファイバー強化樹脂複合材料の物性

【質疑・応答】

1.会社紹介

- 2.パルプの製造方法について
3.各パルプの特徴について
4.セルロースナノファイバーの各種製造方法について
5.セルロースナノファイバーの安全性について
6.自社セルロースナノファイバーの特徴について
7.熱可塑性樹脂との複合化時の問題点について
8.自社の表面疎水化方法について
9.表面疎水化品を用いた樹脂との複合化について
10.今後の展開について

【質疑・応答】

1.背景

- 2.セルロースのTEMPO酸化
2-1 天然セルロースと再生セルロース 2-2 TEMPO酸化
2-3 でんぷんを用いたTEMPO酸化反応解析 2-4 セロウロン酸の特徴
3.TEMPO酸化セルロースナノファイバー
3-1 調整方法
3-2 TEMPO酸化セルロースナノファイバーの特徴
4.セルロースナノファイバーの応用検討例
4-1 包装材料
4-2 その他
5.まとめ

【質疑・応答】

「セルロースナノファイバー」セミナー申込書

No.606431

6/6

【講師紹介割引 30,000円(税抜)】

会社名		事業所・事業部		講師からの紹介として、1名につき30,000円(税抜)でご受講できます。 2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。 申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。 お申し込み後はキャンセルできませんのでご注意ください。 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りします。
住所	〒			
TEL		FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail	
受講者1				個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします
受講者2				

今後、定期的な案内を希望されない場合、案内方法に×印をお願いいたします。
(現在案内が届いている方も再度ご指示ください)

[郵送(宅配便)・FAX・e-mail]


技術情報協会

TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080